【県・東北の輪番】

下線原則変更　　（R6改訂）

※1年早まる

			R5	R6	R7	R8	R9	R10	R11	R12	R13
			2023	2024	2025	2026	2027	2028	2029	2030	2031
県	会長校		山形東	山形東	山中央	山形北	山形北	山形商	山形商	山形南	山形南
県	副会長校	県大会主管	村山B（左沢）	（山東）※地区会長 ※実行委員長	庄内（酒西）	最北（東桜）	置賜（置農）	村山B（山辺）	庄内（光陵）	最北（志誠館）	（山南）※実行委員長
県	副会長校	健全育成	庄内（鶴工）	庄内（酒西）	最北（新北）	置賜（小国）	村山B（天童）	最北（村産）	置賜（長井）	置賜（南陽）	庄内（酒西）
県	副会長校	主管県	青森	福島		宮城		山形		岩手	
県	副会長校	進路対策	最北（新南）	最北（北村）	村山B（山辺）	庄内（致道館）	最北（神室）	庄内（鶴工）	最北（北村山）	村山B（谷地）	置賜（鶴城）
県	副会長校	主管県	秋田	岩手		福島		秋田		青森	
県	副会長校	調査広報	置賜（長工）	置賜（高畠）	置賜（米東）	村山B（寒河）	庄内（酒東）	置賜（米興）	村山B（左沢）	庄内（鶴中央）	最北（東桜）
県	副会長校	主管県	山形	青森		岩手		宮城		秋田	
県	理事	村山A	山工	山北	山西	山南	山商	山北	山南	山商	山工
県	理事	村山A	霞城	山中央	山東	山中央	霞城	山中央	山西	山中央	霞城
県	理事	村山B	寒河	左沢	谷地	寒工	上明	天童	山辺	寒河江	左沢
県	理事	最　北	北村	新北	東桜	神室	村産	北村山	志誠館	東桜	神室
県	理事	置　賜	高畠	米東	小国	置農	米興	長井	南陽	鶴城	荒砥
県	理事	庄　内	酒西	鶴中央	致道館	酒東	鶴工	光陵	鶴中央	酒西	致道館
県	監事	村山A	山西	山商	山北	山西	山中央	霞城	山北	山西	山商
県	監事	村山B	上明	寒河	左沢	谷地	山辺	明新館	天童	山辺	寒河江
東北	総務委員会（事務局長担当）		副委員長〈東北監事〉	委員長	副委員長〈東北監事〉					副委員長〈東北監事〉	委員長
東北	会長・副会長		会長	副会長	副会長					副会長	会長
東北	委員会委員長		調査広報（山東）	賠償責任補償制度（事務局長担当）		研修委員会（山北）		健全育成委員会（山商）			
東北	東北大会開催〈全国理事担当〉		福島	山形	宮城	秋田	青森	岩手	福島	宮城	山形
全国大会開催地			宮城	茨城	三重	大分	東京				（R14福島）

①県高P連会長は山形市内全日7校の2年輪番とする。「山東→山北→山商→山南→山工→山西→山中央」

②県大会担当は「庄内→最北→置賜→村山B」の輪番とする（村山Aは委員会を担当しない）。

③副会長校が担当する東北委員会は主管県(東北地区)により割り当てる。

【県研修会担当校・各種発表等の輪番】

下線原則変更

	R5		R6		R7		R8		R9		R10		R11		R12		R13	
	2023		2024		2025		2026		2027		2028		2029		2030		2031	
	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北	県	東北
村山A	○山西		東北大会開催			◎山北	○霞城		○山東		○山南			◎中央	○山工		東北大会開催	
村山B	★左沢				○谷地			◎天童	○上明		★山辺		○左沢		○谷地			◎上明
最　北	○東桜				○村産		★東桜			◎神室	○北村		○村産		★志誠			
置　賜		◎米商			○長工		○長井		★置農			◎米興	○荒砥		○南陽			
庄　内	○鶴北			◎光陵	★酒西		○鶴工		○遊佐		○鶴中		★光陵			◎加茂		

①★県研修会担当校　○県研修会発表3校　◎東北大会発表校

②東北大会開催年度は県研修会を兼ねる。

③＜発表順＞ 東北発表◎「村山A→村山B→最北→置賜→庄内」（東北大会開催年度に村山Aは当てない）